



「社会を明るくする運動」湯沢市長へ総理大臣メッセージ伝達式
湯沢市役所市民ロビーにて 令和6年7月1日

広報みちしるべ

この頃、母親の記憶力があやしくなってきた。過去の事から二三年前の事まではすっかり覚えていたが、最近の事や二三日前の事がかなりあやしくなっている。半年も前に終わって自ら出席してきたのに、自分の実家の葬儀はいつやるのか聞いてきたり、病院の問診でお医者さんの質問に建替える前の病院のつもりで答えたりして、こちらが慌ててしまう。九十才なのだから年相応で仕方ないのかもしれない。まだ元気で自分の事ができるだけマシだと思わなければいけないのだろう。

かなり以前に脳科学者の先生の講演を聞いたことがあるが、ほとんどの内容は忘れてしまったが「しみじみとした幸せを感じられる人の脳は健康だ」といったような意味の話がとても印象に残った。朝日が昇るのを見たり、海に沈む夕日を見たり、山に行って落ち葉の匂いをかいだりといった何でもない事に「しみじみとした幸せ」を感じられるかといったような話だと思ってしまう。幸いなことに秋田県ではいつでもどこでも経験できる事だと思ってしまう。

暇があればスマホの画面を見ている息子世代はこういった事を感じることが出来るのだろうかと思ってしまう。

いづれ誰もが年をとる。少し前までは平均寿命が重要視されていたが、現在は健康寿命がとても重要視されている。当然のことだと思える。世界中の人たちが様々な事に興味を持って「しみじみとした幸せ」を感じながら健康に暮らせれば、戦争など起こす人間はいなくなるのでは、と思ったりする。

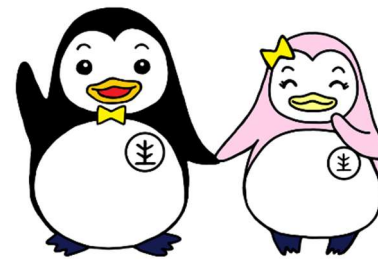


健康寿命での生活
副会長 朽木 光紹

令和六年度 第二号
湯沢地区保護司会

〒021-0824
湯沢市佐竹町四一五
湯沢地区更生保護サポートセンター
☎0183-561-6195

作者の紹介
藤原 こゆきさん
(湯沢市駒形在住)



更生保護のマスコットキャラクター
「ホゴちゃん・サラちゃん」

広報委員

入江 妙子・栗山 晃昇・東海林 久美子
中嶋 和広・八河 継美



秋田県保護司会連合会
湯沢ホームページ



湯沢地区保護司会
Facebook



秋田県保護司会連合会
ホームページ



秋田県保護司会連合会
Facebook

編集後記

私は今年の春から広報委員の仲間入りをした新人です。当地区の活動内容を順次この紙面で紹介していきます。良いところがあれば自画自賛！間違えれば代わるがわる頭を下げるなんとも忙しい部署ですね。年に三回発刊を予定しています。限られた紙面ですが、いつも原稿を募集しています。提案・感想・気づき等サポートに「広報委員会行き」として、お届け下さい。どうか私の初原稿が皆様のお目に止まりますように。よろしくお祈りします。

第七十四回 社会を明るくする運動 協調月間終了

皆様のご協力のもと、今年も「社明運動」協調月間を無事終える事が出来ました。

- ① 七月一日 社明セレモニー
。総理大臣メッセージを市長や町長に伝達のぼり旗の設置
（各地区中心部・商店街等に百本以上）
- ② 七月十二日 湯沢駅連絡通路で広報活動
。早朝、通勤・通学者等に、ウエットティッシュを配布



③ 七月十四日 ふれあい広場で広報活動

。湯沢市文化交流センターにてパンフレット・ウエットティッシュ・うちわ等を約三百組配布
今年、ホゴちゃん・サラちゃんの着ぐるみを着て、子供達と握手したり親御さんと会話できたりしたおかげで、例年以上に保護司会の存在をアピールできたと感じました。

- ④ 七月一日～三十一日 寄付集め
。皆様ご協力ありがとうございました。
- ⑤ 期間中、小中学校への作文コンテストの応募依頼を行いました。

第二期定期研修会に

参加して

研修部 阿部 貢

稲刈り・栗拾い。私の集落では恒例の祭りで恵比寿俵の奉納が行なわれ賑やかなこの時期、先日九月二十六日、第二期地域別定期研修会が秋田保護観察所萩原監察官を講師にお迎えして、湯沢グランドホテルで行なわれました。
冒頭、新しい保護司一名の紹介があり、その後会長から山形での会議で保護司制度に関する法務省の検討会がまとめた報告の概要を話してくれました。研修の題は「報告書作成

各部会の活動案内

総務部

総務部は次にあげる事項について活動をしています。
 (一) 庶務財政に関する事項
 (二) 会員の慶弔に関する事項
 (三) 総会・理事会・役員会の開催に関する事項
 (四) 各部門の連絡協調及び他の部に属さない事項
 特に五月の総会と十二月の顕彰会の準備と運営が主な活動内容です。
 ※研修部は都合により次号で案内いたします。

更生保護四団体 視察研修の実施

十月四日、二十七名の参加を得て、四年ぶりに山形刑務所の視察研修が実施され、刑務所の説明・見学・質疑応答を行った。

山形刑務所は、東京ドーム二個分という広大な敷地を有し、現在の収容人員は千人を越すとのことであった。収容状況は犯罪傾向の

進んでいない受刑者で、平均年齢は四十六才、最高齢者は八十九才という事だった。六十五才以上の受刑者が全体の十二パーセントをしめ、犯罪の高齢化が進んでいるとの事だった。

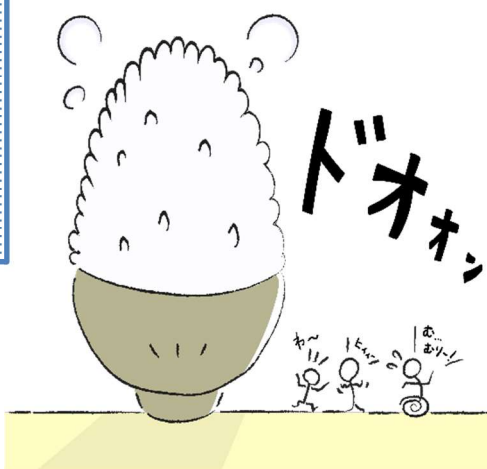


山形刑務所
(山形職業能力訓練センター)

- 参加者の感想の一部
- ・ 刑務所内はきれいで明るい雰囲気だった。
 - ・ 刑務作業をして身につけた力が仕事につながるような連携が必要だと思ふ。
 - ・ 緊張感を持った生活ぶりがかげえた。

余談

昼食の大盛注文の盛りよさに一同ビックリ!!



退任のあいさつ

飯塚 朝子

あれから十六年が経ちました。知られたくない家族が居るからと、夜、人気を気にしながら来訪したSさんのこと、そして、湯沢地区保護司会七十周年記念事業のことが特に思い出されます。多くの対象者を抱え、ご難儀した体験を語られた先輩保護司の方々の座談会。また、地方公演をしながら保護司として寄り添ってこられた「さとう宗

新任保護司紹介

高橋 大輔



この度、新たに保護司となりました高橋大輔と申します。

私は昭和六十年七月二十八日生まれの子三十九歳です。神奈川大学卒業後、不動産会社勤務を経て、今は湯沢市サンロードにてカフェラウンジ17という飲食店を経営しております。以前には、湯沢市市議会議員をしており、湯沢青年会議所、湯沢ストリート村実行委員会、雄勝小学校PTA会長などの職も授かっております。若輩者ではございますが、今後保護司の活動の意義をしっかりと理解し、研鑽を積み、社会が明るくなるように努めてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。



のポイント」で帰住予定地や引受け人等との調整で難しい問題が多くあるなか、資料を見たり講師の解説を聴きながら皆さん真剣に取り組んでおりました。最後に二名の方が体験談をお話してくれました。
今後保護司は、地域社会で益々重要な一役を担う大切なボランティアとして対象者の良き相談者となり寄り添いながら頑張っていきたいと思っております。